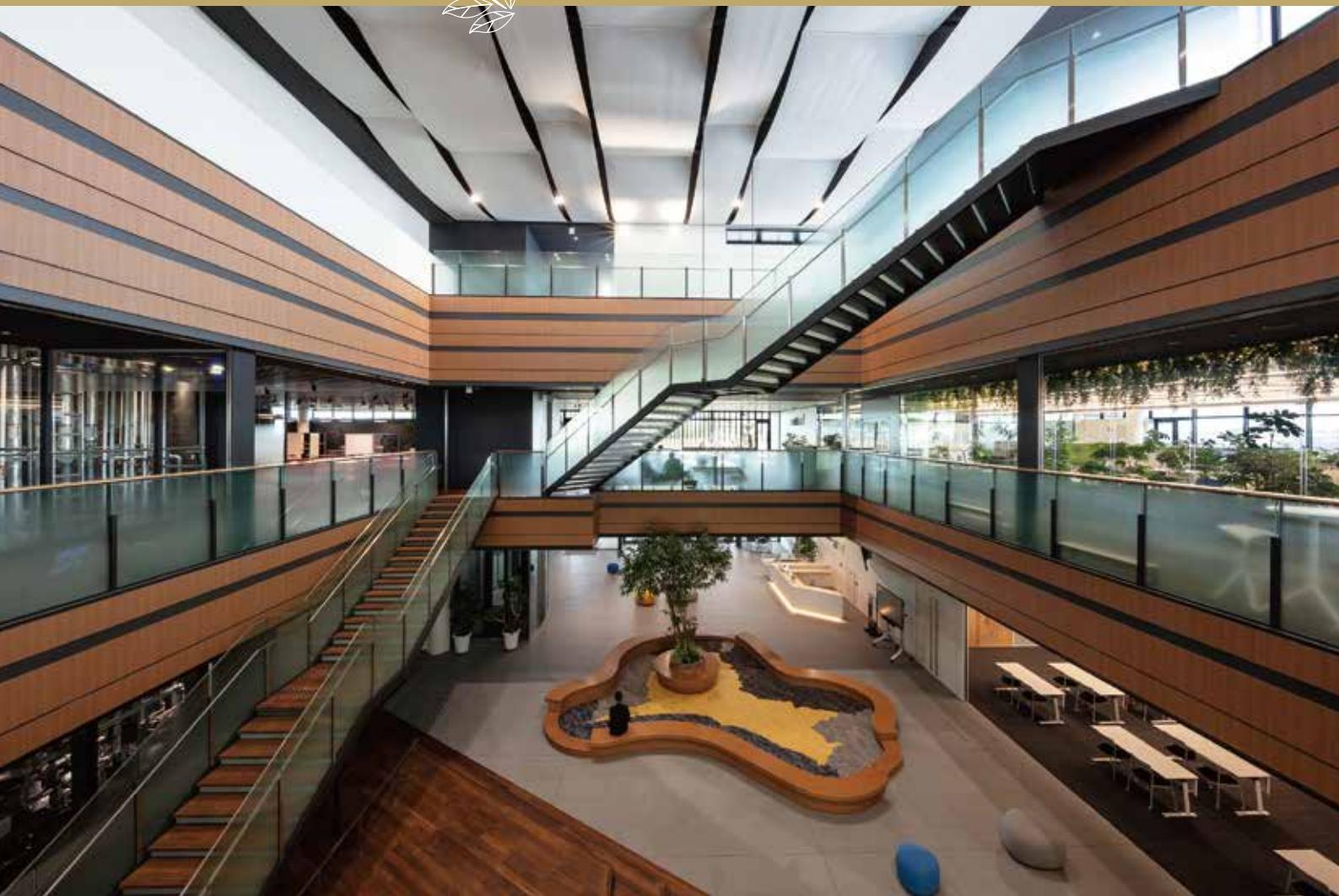


第
34回

茨城 建築 文化 賞



© 小川 重雄

茨城県知事賞[最優秀賞] 高砂熱学イノベーションセンター

●株式会社 竹中工務店 一級建築士事務所

株式会社 三菱地所設計



茨城県議会議長賞[優秀賞]

住友林業筑波研究所 新研究棟

- 住友林業株式会社 住宅・建築事業本部 建築市場開発部 住所／東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 電話／03-3214-2630
- 協力事務所 構造／山田憲明構造設計事務所 電気／明野設備研究所 機械／ヤマダマシーナリーオフィス(ymo) 施工会社／川田工業株式会社
- 建物所在地／茨城県つくば市緑ヶ原3丁目2 ●建物用途／事務所 ●構造／木造(ポストテンション構造) ●建築面積／1,120.27m² ●延床面積／2,532.40m²

**国内初の全館避難安全検証の大臣認定と
大空間の開放性を確保した木造建築**

本プロジェクトは、木造のポストテンション構造を発展させたLVL市松状ブロック耐久壁を開発し、厚さ300mmのラジアーターパインLVLの壁柱とカラ松集成材の柱と梁、及び杉CLTの天井で構成されている。外部の木材には当社オリジナルの半造膜塗料を塗布することで、木材の温かみを表現した。周囲の景観との調和に配慮し、南北には壁面緑化を施し、建物の温熱環境向上に寄与する。木造建築としては国内初の全館避難安全検証(ルートC)の大臣認定により内装制限や堅穴区画等の緩和を受けた。これにより、内部にも木現しによる木質感豊かな空間を実現している。南北に細長く屋内緑化を施したインナーコートヤード上部にはトップライトを有する3層吹抜のアトリウムを設けている。透け性と高耐力を有するLVLブロックにポストテンションを導入したLVL市松状ブロック耐力壁によりアトリウムと外壁面の開放性を確保した大空間を実現した。



写真／1-2-3 © 小川 重雄
4 © ミヤガワ東京



茨城県知事賞[最優秀賞]

高砂熱学イノベーションセンター

- 株式会社 竹中工務店 一級建築士事務所、株式会社 三菱地所設計 住所／東京都江東区新砂1丁目1番1号 電話／03-6810-5000
- 協力事務所 電気／株式会社 三菱地所設計 機械／株式会社 三菱地所設計 展示／株式会社 トータルメディア開発研究所
- 建物所在地／茨城県つくばみらい市富士見ヶ丘2丁目19番 ●建物用途／研究所 ●構造／鉄骨造(一部RC造) ●建築面積／7,129.74m² ●延床面積／11,763.97m²



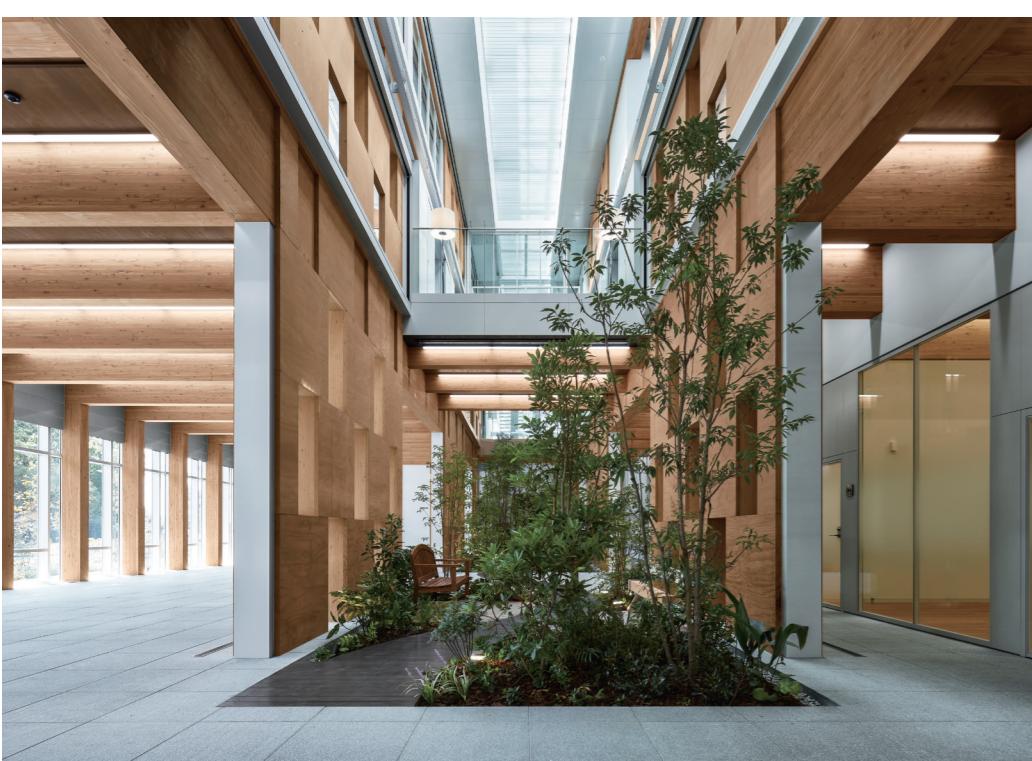
**空調工事最大手企業の未来に向かた
新しい創造を発信する研究所**

オープンイノベーション
変化を柔軟に受け入れ、様々な
スケール活動に対応する多彩な共
創空間。柔らかい光が降りそそぎ
心地よい風が抜け、自然のように移
るい何處にも同じ空間が存在しな
いオフィス研究所。

地域貢献・交流の場
地域活動や社外パートナーとの
コラボレーションが繰り広げられる、
一般開放したカフェレストラン・サテ
ライト会議室・シアタールーム・ミュー
ジアム、緑豊かな外構広場。

環境負荷低減と知的生産性向上
を両立したサステイナブル建築
BIMモデル環境シミュレーション
最新設備技術により創エネ・省エネを実現。設備システムと建築デザ
インが融合し普段は隠されている
「建物を動かす仕組み」を見せ、敷
地全体を体感型展示空間とした。

CASBEE・ウエルネスオフィス
2020年版「Sランク」、BEMS
「5つ星」(設計一次エネルギー消費
量91%削減)、Nearly
ZERO、LEED V4 BD+C
(NC)「Gold」を取得。



茨城新聞社賞[優秀賞]・[住宅部門最優秀賞] 流れのある家

●岩瀬卓也建築設計事務所 住所/茨城県常陸太田市稻木町866番地 電話/0294-72-6121 ●協力事務所 施工会社/株式会社 木栄工房
●建物所在地/茨城県水戸市 ●建物用途/住宅 ●構造/木造 ●建築面積/217.17m² ●延床面積/242.99m²



大きな時間の流れを感じさせる自然を囲う
住宅は地元の職人技術が施された

郊外の住宅地にある本敷地。はじめて訪ねると緑が浮かんだ。形式的な庭というよりはもつと漠然とした緑。あるいは自然そのもの。

が惜しみなく施された。周囲の閑静さに後押しされるかのように流れ(ビオトープ)をつくることとなつたのもまた自然の成り行き。雑木と循環する流れは、その泉の始まりを源流に見立て、大河までのつながりを示唆する。完成した家の部品と全体、それらの意識が向かう先は中庭の水と緑。緑はソヨソヨとの音はサラサラとひろがり、元々この地に存在する大きな時間の流れへと結びつく。

[県建築士事務所協会長賞] 日立市立はなやま認定こども園

●株式会社 三上建築事務所 住所/茨城県水戸市大町3丁目4番36号 電話/029-224-0606
●協力事務所 構造/有限会社 大賀建築構造設計事務所 電気/株式会社 三上建築事務所 機械/NASファシリティーデザイン室 施工会社/岡部・黒川・多賀土木 建設特定共同企業体
●建物所在地/茨城県日立市金沢町2丁目156、157 ●建物用途/認定こども園 ●構造/RC造一部木造 ●建築面積/1,064.23m² ●延床面積/1,101.23m²



子どもたちの「いえ」をイメージしたこども園

この園は、小さな子どもたちが一日の大半の時間を過ごす「いえ」といえる場所であり、生活を営む小さな子どもたちの社会でもあります。施設全体を大きな塊とするではなく、いくつもの家々が寄り添う里山の集落の景観をイメージし、保育室ひとつひとつに独立した屋根を設けて子どもたちの「いえ」日当たりがよい「えんがわ」を配置しました。

保育室の園庭に面する部分には、春日和の日には日向ぼっこができる場所、中間期には建具を開け放ち広いテラスとして利用できる場所としています。また、運動会など園庭でイベントを行う際には、観覧スペースとしても活用することを想定しています。

内部は特徴的な木の架構を室内に表し、子どもたちの原風景となるような空間を創出しました。遊戯室は園庭と隣接させて、一体利用を可能としています。



茨城県土木部長賞[優秀賞] 笑顔がこだまする幼稚園 あづま幼稚園

●株式会社 andHAND 建築設計事務所 住所/茨城県つくば市東新井29番地13 電話/029-855-3055
●協力事務所 構造/秋桜構造計画 電気/コアプレイン 機械/コアプレイン、環境工作室 施工会社/松浦・ヒロサワ特定建設工事共同企業体
●建物所在地/茨城県取手市ゆめみ野4丁目22番地1 ●建物用途/幼稚園 ●構造/木造一部鉄骨造 ●建築面積/1,716.46m² ●延床面積/1,575.24m²

約築40年の幼稚園建て替えプロジェクト。五感が利く園舎(見・聴・触・味・嗅)にしたいという施主の要望を軸に計画を進めた。敷地周辺が住宅地といふことも踏まえ、華美に造りこみすぎず、子どもたちが建物の色となるようシンプルで、地域と調和がとれた開かれた空間の幼稚園を目指した。切妻屋根が連なった建物を、カーブを描いた渡り廊下でつなぎ、「自然を体感できる空間構成」で園庭

と一体感のある、光溢れる建築計画とした。また既存の園舎を利用しながらの建築を提案。夏休み期間の引越し→旧園舎の解体→秋には園庭での運動会と、子どもたちの園生活やスケジュールを視野にプロジェクトを計画。

子ども目線で寄り添い、ここが第二の家でもあり、温かみのあるどこか懐かしい幼稚園をテーマに、遊びに集中できる「芽生えの場所」を整えた。





病院に良好な通風と採光をもたらし 明快かつ軽快なデザインに

既存精神科病院の全面建替えによる新築建物である。

北西の一角約70m×60mは地盤面が3mほど下がっていて職員駐車場として使われていたが、病院を閉じることなく建替えるために、それが新築建物の敷地となった。

南側前面道路からのアプローチレベルは、新たな建物の2階部分に相当するため、2階を外来と管理部門、1階と3階を病棟とする断面構成とした。建物の高さも既存建物による制約の中での設計だったため、鉄骨造を採用し、1階と3階

の階高を抑え2階の階高を最大限確保している。南北方向に内法幅5mほどの中庭を設けて、建物全体に良好な通風と採光をもたらすとともに、明快なゾーニングにもとづく平面計画をめざした。その結果、一般的にしばしば指摘される精神病棟内の臭気の問題が発生することなく、わかりやすく使いやすいとの声をいただいている。外観は柔らかい暖色と無彩色の白によって構成し、正面を軽快なデザインにするよう努めた。



© 堀内 広治

[県建築士事務所協会長賞] 医療法人碧水会 汐ヶ崎病院

●株式会社 三上晴久建築設計事務所、株式会社 田中邑建築設計事務所、一級建築士事務所 re'Design 住所／(一級建築士事務所 re'Design)茨城県水戸市見和3-169-32 電話／029-291-8186, 090-8517-3523 ●協力事務所 構造／野村基建築構造設計 施工会社／株式会社 萩建設工業 ●建物所在地／茨城県水戸市大串町715番地 ●建物用途／病院 ●構造／鉄骨造 ●建築面積／2,295.93m² ●延床面積／6,067.05m²

【入選】日立の住宅 住い手のライフスタイルや未来を想像し 五感で感じとる住まい



海の見える敷地を探し続けやつとこの地に出会う事ができた。海までは緩やかな崖地に竹林が広がっており防風林の役目を果たしている。リビングは2階にして竹林越しに海を眺める。海は水平線まで一望でき視界はどこまでも広がる。きっと美しい朝日が見えるのだろう。そんな構想が敷地を一目見た時に浮かんだ。生活の中心は2階とし、LDKと水廻りと書斎を配置した。東の海に向かう5・4メートル視界を出来る限り妨げない

いように窓の造りとバルコニーの手摺のディテールに配慮した。南側には、近郊の住宅街と遠方の山並みが見渡せる大きなピクチャーウィンドウを設けた。LDKの勾配天井は空間をダイナミックに演出し、最上部には開口を設け上昇気流による風の通り道を確保した。住い手のライフスタイルや未来を想像し、窓から見える景色、風が流れる空気感、人の気配や音や香り、内装材の質感などを五感で感じとる住まいとなる事を願っている。

【入選】株式会社 アダストリア本店 深部まで景観として提供したデザインは まちと建物をゆるやかに繋げる

●株式会社 横須賀満夫建築設計事務所 住所／水戸市南町2-1-18 アキビル 電話／029-225-4353
●協力事務所 構造／有限会社 崇建築研究所 電気／株式会社 川又設備計画 機械／株式会社 菊地設備設計事務所 施工会社／株式会社 田村工務店
●建物所在地／茨城県水戸市泉町3丁目1番27号 ●建物用途／事務所 ●構造／鉄骨造 ●建築面積／207.88m² ●延床面積／312.34m²



アパレル企業アダストリアの創業地水戸における本店の建替です。中心市街地活性化、まちづくり、観づくりに積極的に参加した計画です。

まちや通りとの一体感を強めるために建物内の機能や人の動き、そして生業までも積極的に表出させ、ファサードとしてのデザインとしました。内部のワンルーム化を提案し、深部まで景観として提供しています。

まちと建物をゆるやかに繋げる試みとして、シマトネリコのあるコ

ミュニティの場を設けました。供待ちテラスと共に、かつてこの地にあったお祭り広場を再現しています。内部空間は白で統一し、ベンジャミンの緑をトップライトによって際立たせました。ベンジャミン、シマトネリコの異なる樹木が内外を仲介し街との一体感を強めます。樹木を模したツリー、ボールは地震時のたわみを軽減し、サッシへのダメージを防ぐ役割を持たせました。

北側ファサードの暗さと閉塞感を取り除き、心地よい開放感を創出しました。

【住宅部門優秀賞】街なかの借景

●有限会社 宮本建築アトリエ 住所／茨城県水戸市千波町2274-18 電話／029-244-7711 ●協力事務所 構造／有限会社 都市環境計画コンサルタント 施工会社／内海木材有限会社
●建物所在地／茨城県水戸市 ●建物用途／一戸建ての住宅 ●構造／木造一部鉄筋コンクリート造 ●建築面積／166.22m² ●延床面積／172.68m²

敷地は四辺とも、庭木と小さな林、学校の土手と桜の木々に囲まれています。市街地の中にありながら自然に恵まれた環境。南側道路と敷地の一部は、東側道路より2mを下る斜面になつていて、その斜面と周囲の緑、周辺環境にいかに溶け込ませるかが、課題になつていました。

特に斜面に面する木立ちとその周辺環境は、市街地にあることを忘れさせる見事な景観でした。主な居室から、この景観を望めるよう配置することからプランがスタート。特に玄関の土間は内部と外部を自然にやはらかく繋げながら借景を最大限に楽しめる中庭へ導く絶好のアプローチとして機能する形にしました。



自然に恵まれた景観を 回遊しながら楽しむ住まい

うに配置することからプランがスタート。特に玄関の土間は内部と外部を自然にやはらかく繋げながら借景を最大限に楽しめる中庭へ導く絶好のアプローチとして機能する形にしました。

室内からは、バルコニー、中庭、格子と外壁に囲まれたバー、ゴラ路地、アプローチ、裏路地、菜園庭へとアクセスできる。内と外が様々な形で密接にゆるやかに繋がつて回遊しながらそれぞれの異なる表情を楽しむ住まいとなりました。



[入選] I-house

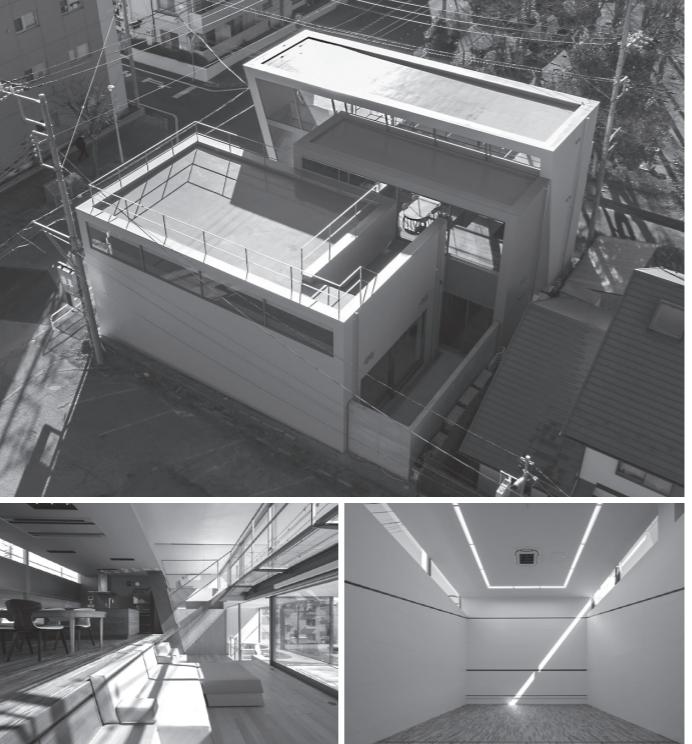
●m-style(エムスタイル)一級建築士事務所 住所/茨城県つくば市二の宮2-5-1 吉春ビル403 電話/029-896-5222
 ●協力事務所 施工会社/有限会社 ユカ総建 ●建物所在地/茨城県つくば市
 ●建物用途/住宅 ●構造/木造 ●建築面積/118.26m² ●延床面積/111.37m²



インナーテラスが家の中心に位置する 眺望や風通し、採光を考えた開放的なつくり

敷地はつくばの市街地の近隣に位置する古くからの集落の中にあり、つくばらしい穏やかな環境を残した地域です。南側になだらかに傾斜する敷地で、前面の風景をいつでも感じられるよう開口部を大きくとり、眺望や風通し、採光を考えた開放的なつくりとしている。

レーモンド様式の旧井上房一郎邸を好むお施主様が考えたインナーテラスのあるプランを出来るだけそのままの形で実現できるように、いくつかの事例を織り交ぜながら



© 小川 重雄

最後の家族旅行

商業化され簡素化されたお葬式スタイルが増加している昨今。かけがえのない最後のときを過ごしてもらいたいと願う「最後の家族旅行」ができる葬祭場です。

周辺には緑が少なく地域に開かれ、子供の目線でも敷地内の庭園による季節の移ろいに触れることができます。

本建物の特徴であるむくり屋根の連なりがまちの新しい表情となっています。敷地内に7ヶ所ある日本庭園を取り囲むように各部屋を配置し自然と共に故人への想いを馳せ偲ぶことができます。

人と日本美と自然の関係性を感じることができます。「終の宿」かれん離宮は、人生の終焉儀式を執りおこなう場所として、記憶の中深く刻み込まれるお葬式を提供できる施設です。

[入選] 「終の宿」かれん離宮

●株式会社 フクイ 住所/東京都新宿区上落合1-16-2-4F 電話/03-6304-0144
 ●協力事務所 電気/有限会社 近代設備設計事務所 機械/有限会社 近代設備設計事務所 施工会社/株式会社 クラフト ●建物所在地/茨城県土浦市荒川沖412
 ●建物用途/葬儀場 ●構造/鉄骨造 ●延床面積/1,539.04m²(増築847.11m²)



地元の木の柔らかさや温もりが感じられ、学生達が交流し、各々の時間を過ごせる建物

茨城キリスト教学園は日立市の大甕駅に面する場所に立地している。今回、大甕駅西口からのアプローチ空間を再整備することに合わせて、学園内のメインストリートに面した利便性の良い位置に店舗を移転することになった。

新しい店舗の構造は木造とし、茨城県内の木材を用いることで、地元の木の柔らかさ、温もりが感じられる空間で学生達が交流し、思いの時間を過ごせる建物とすことを提案した。

建物の形態は既存建物との延焼ラインを回避する位置、軒の出は電線を避ける位置ではほぼ決定された。内部は生協の売場と、学生が自由に利用できる多目的スペースに張弦梁を用いてスパン11・8mの柱のないフレキシブルな空間とし、壁の大きなC.L.T.パネルを採用して耐力壁を集約することで大きな開口部を設け、店舗が面するメイストリートから店内の様子が確認でき、店内に立ち寄りやすい雰囲気づくりを行った。

**書斎からスカツシユコートまで大小様々な諸室は
床高や内装色で変化と抑揚をもたらしている**

つくば市内の住宅地に建つ、幾つかの趣味室をもつ単身赴任者のための住宅。

書斎からスカツシユコートまで大小様々な要求諸室を、街並みへの整合を図りつつ適切に積み上げ、正対する公園の緑を隅々に取り入れつつ、全体を1方向ラーメンの4つの門型で覆つた。断面的には、どこからでも公園の緑が見えるよう、ひな壇上にスキップササバルコニーで目前の電線まで隠した上部の開放的ワンルームの居住部分と、その基壇となるべく

日々に変化と抑揚をもたらしている。

[入選] 茨城キリスト教学園 生協店舗

●日本産業株式会社 住所/茨城県日立市鮎川町4-1-8 電話/0294-35-0455
 ●建物所在地/茨城県日立市大みか町6丁目11番1号 ●建物用途/大学(生協店舗) ●構造/木造 ●建築面積/293.05m² ●延床面積/289.91m²





自然光が降り注ぐ開放感のある地下空間 駅を核とした周辺整備動線にも配慮

常磐線大甕駅舎改築及び自由通路新設は、旧駅舎周辺が抱えていた東西の分断を解消し、周辺地区との交通結節機能強化を目指して計画された。地下には自由通路・出札機能を配置し、地上部には駅舎・東西階段室・EV塔屋等をコンパクトなボリュームで分散配置することと周辺景観創出を目指した。

地上構造物には、大甕駅の西側遠景は緑地・山、東側は海である



[入選] 常磐線大甕駅舎改築及び自由通路新設

- 東日本旅客鉄道 株式会社 水戸一級建築士事務所 住所 / 茨城県水戸市三の丸1丁目4番47号 電話 / 029-227-2143
- 協力事務所 施工会社 / 東鉄・鉄建大甕駅舎改築及び自由通路新設工事共同企業体
- 建物所在地 / 茨城県日立市大みか町2丁目2250-3, 2227-1
- 建物用途 / 自由通路・駅舎
- 構造 / 鉄筋一部RC造
- 建築面積 / 233.71m²
- 延床面積 / 584.66m²

地勢の特徴を抽象化し、デザインに取り入れた。地下空間は光が入りづらいことにより陰湿な空間となってしまう傾向があるが、高低差のついた地形を最大限に生かし、地上接続部を大空間化し、ガラス等を積極的に採用することで、自然光が降り注ぐ、開放感の感じられる地下空間が得られた。駅を核とした周辺整備事業との関係における動線にも配慮し、連続感のある空間が形成され、コンセプト「人と人との繋がる駅」を実現可能とした。



[リフォーム賞] 花火の住処

- 生空感建築研究所 住所 / 茨城県つくばみらい市福岡1533-1 電話 / 0297-44-4472
- 協力事務所 施工会社 / 株式会社 カイテキホーム
- 建物所在地 / 茨城県つくば市
- 建物用途 / 専用住宅
- 構造 / 木造軸組工法
- 建築面積 / 51.38m²
- 延床面積 / 67.75m²

耐震・断熱・バリアフリー改修、2階の一室を吹抜として内部空間も一新

「花火の住処(すみどころ)」は、つくば市(旧 荘崎町)に立地。

1978年(昭和58年)旧耐震)で建てられた大型開発団地内にある

建売住宅を購入。一時、仕事の都合上、東京都内に居住していましたが退職とともに快適な老後の生活のため夫婦とも65歳からの、新たな住まい方として年金生活を持ち家で始めるにあたり、リノベーション着手したのです。

旦那様は、前歴がマーケティングプランナー(車の商品企画・広告戦

略企画)でした。

要望は外観・内観とも「白」が基本であることと、「白雪姫の棺(アラウン・SK4(1956))」を意識したデザインでした。西側の面からは、夏の終わり9月に神社で上がる奉納花火が見えることから、2階西面に大きな窓を設置し、家の顔としています。耐震・断熱・バリアフリー改修とともに、2階の一室を吹抜として減床とし、LDの開放度も高めることで内部空間も一新しています。

[リフォーム賞] 茨城県庁舎行政棟25階北側展望ロビー

- 株式会社 Kraft Architects 住所 / 東京都新宿区新宿1-9-2 5F 電話 / 03-6882-4296
- 協力事務所 電気 / 株式会社前田設備設計事務所 機械 / 株式会社前田設備設計事務所 施工会社 / 株式会社マヌ塗装店
- 建物所在地 / 茨城県笠原町978番6 茨城県庁舎行政棟25階北側展望ロビー
- 建物用途 / 事務所(展望ロビー・軽飲食店)
- 構造 / S造一部SRC造
- 建築面積 / 6,809.26m²
- 延床面積 / 81,011.06m²(設計対象面積521.38m²)

茨城の風景に溶け込む 地上100mのランドスケープ

茨城県庁舎行政棟最上階25階展望ロビーの利用促進を図るべく、「見学者」「打ち合わせ」「ビジネス」「くつろぎ」といった新たな居場所の計画が求められました。

既存の空間を尊重しつつも空間を丁寧に読み解き、新しく2つの地形・(湾曲壁)と(展望ステージ)を設計しました。茨城の海岸線を思われるような(湾曲壁)は、雄大な景色を内部に取り込みよう意図し、その内側には賑やかな「見学者」と「打ち合わせ」のスペースを、その外



側には落ち着いた「ビジネス」と「くつろぎ」のスペースを配置しました。

壁の外側は床レベルを上げた(展望ステージ)として他の居場所よりも視点を高くし、より眺めの良い落ち着いた場所としています。

全く違う個性を持つた4つの居場所がそれぞれ分離されつつも、おらかに共存することで全体として賑やかな場所となるよう意図しました。空と水平線に溶け込む新たな風景が茨城県の誇れる居場所になることを願っています。

[入選] 小規模保育園 ソシエルみどりの

- 株式会社 andHAND建築設計事務所 住所 / 茨城県つくば市東新井29番地13 電話 / 029-855-3055
- 協力事務所 構造 / 株式会社andHAND建築設計事務所 電気 / こすも設備設計 機械 / 株式会社池田設備設計事務所 施工会社 / パルつくば 株式会社
- 建物所在地 / 茨城県つくば市みどりの2-5-70
- 建物用途 / 小規模保育園
- 構造 / 木造
- 建築面積 / 371.81m²
- 延床面積 / 371.81m²



この場所で育つ子どもたちは 木に触れ、つかまり、遊びの中で活用していく

つくば市みどりのに新しく開発された住宅エリアのはば中央に小規模保育園を新設するプロジェクト。

新しい住宅地の街並みとの調和を考慮し、住宅のスケール感での外観と新しい住宅地のシンボリックな存在になるよう心掛け設計をすみました。

遊戯室となるホールを大きく確保し、木々の下で過ごしているような特徴的な「木組みの梁」と大きな窓をデザインした。窓からは広がる空を感じ、流れゆく雲、光の移

ろいを感じることができます。

また、「丸太の柱」は、この場所で育つ子どもたちが木に触れ、つかまり立ちをしたり、遊びの中での活動をしていく考え方配置。大きなデッキでは、園児たちが遊んだり、日向ぼっこができる空間とした。

0歳児から2歳児までの活動は著しい成長と共に大きく変化していく時期となる。この場所で空や木、光、土を感じ取り、自身の成長していく記憶を親子と共に感じてほしいと考える。

講評

第一次審査の経緯

第34回の令和2年度は2021年3月18日に審査委員6名が出席して第一次審査を実施した。今年の応募作品数は36点で、住宅など

第一次審査会場に展示された全作品を審査した委員が審査した後、一人10票の持ち点で住宅リフォーム、建築の大小、種別を問わず投票した（第一回投票）。その結果、2票以上を獲得した作品（17作品）を審議し、これら17作品を入選以上に選定した。次に、一人5票の持ち点で投票した（第二回投票）。その結果、獲得数の多かった6作品を第二次審査（現地審査）の対象とした。第二次審査をする6作品には住宅作品が含まれていた。そこで、この作品を住宅部門の最優秀賞に選定すると同時に第二次審査対象の候補とした。また住宅部門の優秀賞は、第一次審査対象とした住宅作品に次いで得票数が多かった住宅作品とした。尚、第二次審査の中にはリフォーム作品は含まれていなかった。よってリフォーム賞においては、まれに選定された2作品とした。

4月24日に審査委員6名で6作品に対しても現地で審査した後、第二次審査会場に移動した。まず審査員全員が、周辺環境条件との調和、現代的課題への提案、まちづくりへの貢献構法、

第二次審査の経緯

■ 知事賞／高砂熱学イノベーションセンター

株式会社竹中工務店一級建築士事務所
株式会社三菱地所設計

■土木部長賞／笑顔がこだまする幼稚園
あづま幼稚園
株式会社 and H A N D 建築設計事務所
切妻屋根が連なった新園舎が敷地の中央に

■茨城県建築士事務所協会長賞／医療法人
碧水会 汐ヶ崎病院

本建築は環境負荷軽減と知的生産性向上を両立した最先端のZEB建築であることに加え、地域や社内外の人々との協働が3層吹き抜け空間を軸とした隣接空間で展開される地域共生のオープンな研究施設である。地域住民に開放されている1階では、環境技術を体験できる展示が内外部で連続的に配置されており、ZEB建築の普及に大きく寄与するだろう。フリーアドレスのオフィス空間ではセンサや天井面における放射パネルとデスク空調を活用することで消費エネルギーを削減しつつ、人それぞれの温冷感に合わせた空調を可能にし、快適で心地よい新しい執務環境を実現している。プラン

地に新しい「新規建築」を実現していくことを、建築業界の活性化と連携して、アーバンリノベーションによる環境共生建築の実現とサステイナブルな地域づくりに向けた姿勢が審査員の高い評価を得ました。

■議会議長賞／住友林業筑波研究所新研究棟
住友林業株式会社 住宅建築事業本部 建築
市場開発部

茨城新聞社賞／流れのある家
岩瀬卓也建築設計事務所

以上、本次城建築文化賞は例年作品の規模種類、依頼主、工事単価等を全く考慮せずに選定している。そこに選考の難しさはあるが、今後も本賞の趣旨に調和された目的に叶う「一つの建築として完成度の高い作品」を見出すべく審査に臨む思っている。時代の求める課題に応えチャレンジングな提案性ある新たな作品を次年度も期待したい。

が最高得票数を集め知事賞に決まった。順次各研究会が議會長賞に、笑顔が市はなやま認定こども園と、医療法人碧水会こだます幼稚園が土木部長賞に、流れのある家が茨城新聞社賞に、日立市はなやま認定こども園と、医療法人碧水会汐ヶ崎病院が茨城県建築士事務所協会長賞に決まった。

開放性を確保した大空間が最大の特徴である。木造耐力壁に設けられた隙間を通して光が差し込む、内部空間にも木質感が豊かな空間を実現しており、中大規模の木造建築の可能性を高めている点が高く評価された。

株式会社 三上建築事務所
やまと認定こども園
保育室ごとに設けられた屋根の連なりが傾斜地に位置した敷地に調和しており、地形になじんでいる。また、保育室と園庭の間には木質の縁側が連なって配置されており、屋根の連なりと水平方向に広がる縁側内部空間における木の架構が園児を優しく包み込む様子がうかが

機能的な解決策建築文化としての空間美しさ等を主な評価軸として、6作品について講評し、議論した。その後、個々の賞に対する

現させた。LVL市松状ブロック耐力壁は高い機能性と独創的な特徴を有している。空間的に木造耐力壁が中央部のインナーコートヤード

空間構成とディテールにおける丁寧な造りこみが絶妙なハーモニーを奏でていることが高く評価された。